



宿題たしかめ表

9月23日～9月29日

お家の人のサイン	今週の宿題	
	1	音読 下 P11～P35
	2	漢字学習ノート P61～P65
	3	漢字書きテストの練習⑭
	4	漢字読みテストの練習⑬
	5	たしかめプリント1枚・宿題プリント3枚
	6	「ごんぎつね」ごんの日記
	7	新出漢字十五 (結果漁径副臣梅灯貨)
	8	クロスワードことわざ慣用句⑳
	9	短作文「今週の慣用句⑰」
	10	10月のカレンダー作り (ウェブサイトを見て作成。9月30日までに提出。)
	11	9月の一言日記を続ける。
	12	ウェブサイトを見て「大きな古時計」を歌う。



音読カード きのうちより上手に読めたかな

よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

読んだところ	(ごんぎつね・秋の楽しみ)						
よ む め あ て	金	土	日	月	火	水	木
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容がわかる							
お家の人のサイン							

漢字書きテスト練習

⑭

梓組

① ドアの**いち**をたしかめる。

② 花と虫との**かんけい**。

③ ごみを**こうおん**でもやす。

④ きびきびとした**どうさ**。

⑤ 姉の**ほか**に三人が選ばれた。

⑥ 先生が**しゅっけつ**をとる。

⑦ テストで**まんてん**をとる。

⑧ **えいよう**のある食事。

⑨ **そつぎょう**しきに**参列**する。

⑩ 書店で**たんこうぼん**を買う。

単行本	卒業式	栄養	満点	出欠	他	動作	高温	関係	位置

漢字読みテスト練習



梓組

* 漢字の読みの練習をしましょう。正しく読めたかどうかたしかめながら、何度も読んでみましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
望みがかなう。	命令にしたがう。	部屋が散らかる。	健康に注意する。	健全な考え方。	家の手伝い。	重要な働き手。	民族のお祭り。	ゆめと希望。	明るい未来。
⑳	⑑	⑒	⑓	⑔	⑕	⑖	⑗	⑘	⑙
真っ赤な花。	本の帯。	号令をかける。	小康をたもつ。	ほ健室に行く。	秋田県の民話。	平和を希きゆうする。	未完成の作品。	朝の散歩。	ろう働する時間。

宿題 たしかめプリント

梓組

1

□に当てはまる漢字を書きましょう。

めいれい

(1)

□

をする。

いち

(2)

□

につく。

まんてん

(3)

□

を目ざす。

えいよう

(4)

□

のある食物。

そつぎようしき

(5)

姉の □

。

けっか

(6)

よい □

になる。

ちよっけい

(7)

□

をはかる。

ひゃっかてん

(8)

駅前の □

。

2

対話のときに注意することをまとめました。()に当てはまる言葉をア〜ウから選んで、記号で答えましょう。

(1) それぞれの()や、相手が何を()いるかによって、感じることや考えることが変わってくることに気をつける。

(2) 自分だけでなく、相手がどう()を考える。

ア 思うか イ 知って ウ 立場

3

次の□に入る同じ言葉を、()にひらがなで書きましょう。

(1) 家が□。先頭に□。湯気が□。

()

()

(2) 橋が□。医者□。わなに□。

()

()

(3) 気を□。日記を□。電気を□。

()

()

宿題プリント

梓組

1 次の線の漢字の読みがなを書きましょう。

- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| ① 色の変化 | ② 折る | ③ 昼飯 | ④ 菜種 |
| ⑤ 松たけ | ⑥ 積む | ⑦ 差す | ⑧ ふり続く |
| ⑨ 念仏 | ⑩ 連れ立つ | ⑪ 不思議 | ⑫ 結末 |

2 次の線の言葉の意味をそれぞれ選んで、○をつけましょう。

- ① 小川のつつみを歩く。
ア () 川の流れの下の方。
イ () 川の水があふれないように高くしたところ。
ウ () 川の水のあさいところ。
- ② 祖父そふのいはいをささげる。
ア () なくなった人の着ていたもの。
イ () なくなった人のすきだった食べ物。
ウ () なくなった人の名前を書いた木のふだ。
- ③ なやにくわをしまう。
ア () 家のげんかんにある物入れ。
イ () 農具などを入れておく物置小屋。
ウ () 人がねたり食事をしたりするへや。

「なや」は、
農家などに
あったよ。



3 次の () に当てはまる言葉を下の から選んで、記号を書きましょう。(同じ言葉を二度使ってはいけません。)

- ① 水かさが () ましている。
② くりを () 拾う。
③ () 遊びに出かける。
④ つかれて () 横になる。
⑤ つえを () と取り落とす。

ア	ばたり
イ	どっと
ウ	ぶらぶら
エ	どっさり
オ	ぐったり

4 次の文章を読んで、問題に答えましょう。

これは、わたしが小さいときに、村の茂平もへいというおじいさんから聞いたお話です。

昔は、わたしたちの村の近くの中なか山やまという所に、小さなお城があって、中山様というおとの様がおられたそうです。

その中山から少しはなれた山の中に、「ごんぎつね」というきつねがいました。ごんは、ひとりぼっちの小ぎつねで、しだのいっばいしげった森の中に、あなをほって住んでいました。そして、夜でも昼でも、あたりの村へ出てきて、いたずらばかりしました。畑へ入っていもをほり散らしたり、菜種なながらのほしてあるのへ火をつけたり、百姓しやう家のうら手につるしてあるとん（とうがらし）がらしをむしり取っていったり、いろんなことをしました。



〈新美 南吉〉「ごんぎつね」より

(1) 「わたし」とは、だれですか。次から一つ選んで、○をつけましよう。

- ア () 茂平
- イ () ごんぎつね
- ウ () 語り手

(2) 「ごんぎつね」は、どんなきつねですか。文章中から十一字の言葉をぬき出しましょう。

(3) ごんぎつねは、どこに住んでいましたか。

(4) 「いたずらばかりしました」とありますが、ごんぎつねがしたいたずらを、三つ書きましょう。

5 次の文章を読んで、問題に答えましょう。

やがて、白い着物を着たそれらの者たちがやって来るのが、ちらちら見え始めました。話し声も近くなってきました。それつは、墓地へ入ってきました。人々を通ったあとには、ひがん花がふみ折られていました。

ごんは、のび上がって見ました。兵十が、白いかみしもを着けて、いはいをささげています。いつもは、赤いさつまいもみたいな元気のいい顔が、今日はなんだかしおれていました。

「ははん、死んだのは、兵十のおっかあだ。」ごんは、そう思いながら頭を引っこめました。

そのばん、ごんは、あなの中で考えました。「兵十のおっかあは、とこについていて、うなぎが食べたいと言ったにちがいない。それで、兵十が、はりきりあみを持ち出したんだ。ところが、わしがいたずらをして、うなぎを取ってきてしまった。だから、兵十は、おっかあにうなぎを食べさせることができなかった。そのまま、おっかあは、死んじゃったにちがいない。ああ、うなぎが食べたい、うなぎが食べたいと思いがら死んだんだらう。ちよつ、あんないたずらをしなけりやよかった。」

〈新美 南吉「ごんぎつね」より〉

(1) 季節が分かる一文を、初めの段落から見つけて、~~~~線をつけましょう。

(2) ごんが「ははん、死んだのは、兵十のおっかあだ。」と思ったのは、兵十のどんな様子からですか。二つ書きましょう。

(3) 「とこについて」とは、ここではどういう意味ですか。

(4) 「ちよつ、あんないたずらをしなけりやよかった。」について、答えましょう。

① ごんは、どんなことをしたのですか。

② ごんの気持ちに当てはまるものに、○をつけましょう。

ア () 不安な気持ち。

イ () くやむ気持ち。

ウ () いかりの気持ち。

ごんの日記

梓組 名前

「ごん」になって日記を書こう。出来事だけでなく思ったことや考えたことも想像して書こう。

一の場面 (ごんが兵十にいたずらした日)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

二の場面 (兵十のおっかあおとうの葬式むすびの日)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

三の場面 (いわしを投げこんだ日と次の日)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

四の場面 (兵十と加助の話聞いたとき)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

五の場面 (お念仏おんぼんの帰り道)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

六の場面 (兵十に見つかった日)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

おぼろげな思い出

梓組 新出漢字 十五

部首
臣

画

読み方

訓 音

部首
副

画

読み方

訓 音

部首
徑

画

読み方

訓 音

部首
漁

画

読み方

訓 音

部首
果

画

読み方

訓 音

部首
結

画

読み方

訓 音

Blank box for writing notes or examples for the character 臣.

Blank box for writing notes or examples for the character 副.

Blank box for writing notes or examples for the character 徑.

Blank box for writing notes or examples for the character 漁.

Blank box for writing notes or examples for the character 果.

Blank box for writing notes or examples for the character 結.

名前

梓組 新出漢字 十五

部首

画

読み方

訓 音

部首

画

読み方

訓 音

部首

画

読み方

訓 音

部首

貨

画

読み方

訓 音

部首

灯

画

読み方

訓 音

部首

梅

画

読み方

訓 音

Blank box for writing

名前

21

天気のことわざ・慣用句

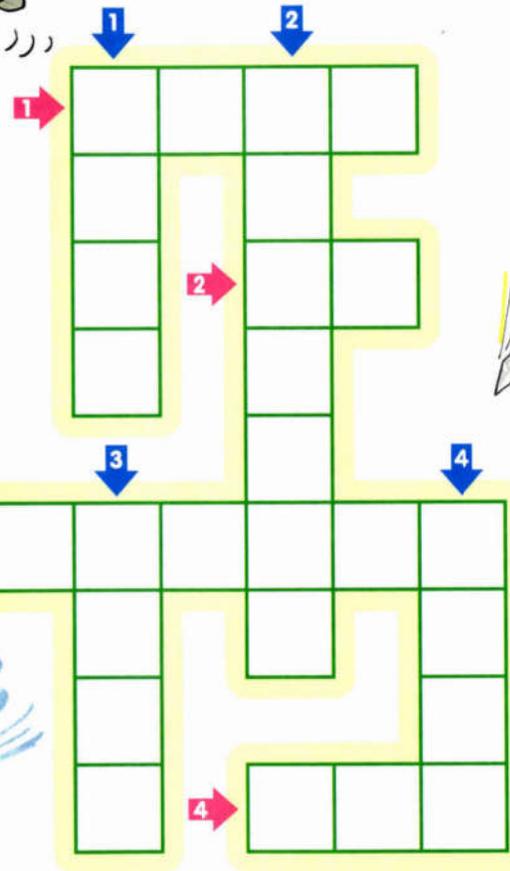
問題の答えを□に書こう。天気にかん係ある言葉だよ。

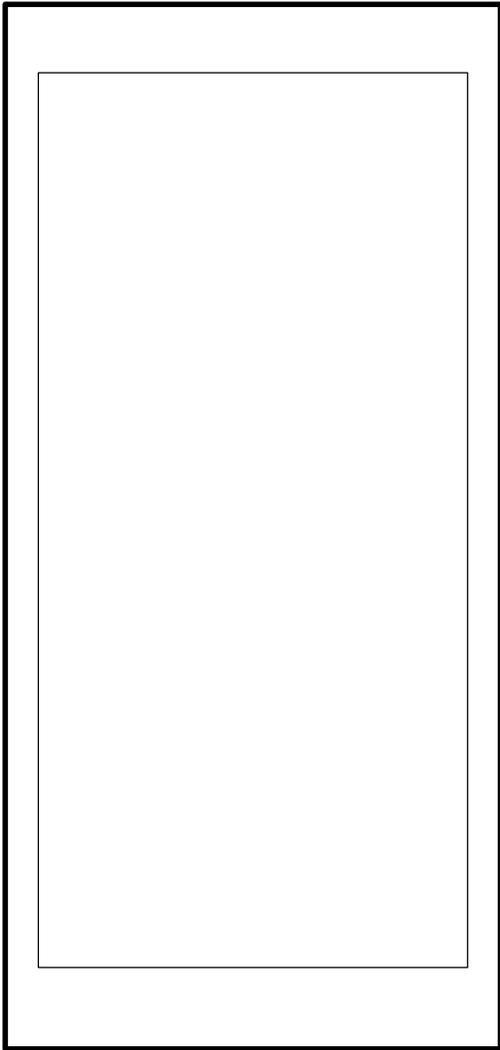
たてのカギ

- 1 怖いものをじゅん番にならべて、「地しん○○○○（ぶん）火事親父（かじおやじ）」という。○○○○は、空で光ってゴロゴロ音（おと）がするよ。
- 2 朝（あさ）やけの日は雨（あめ）がふって、夕（ゆう）やけの次（つぎ）の日は晴れるということ（は）を「○○○○○○○○、夕（ゆう）やけは日和（ひより）」という。
- 3 ○○○○にまかせることを「明日（あした）は明日（あした）の風（かぜ）がふく」という。「なりゆき」と「ともだち」のどちら？
- 4 父（ちち）が何もいわないなんて、「あらしの前の○○○○（まえ）」かな。

よこのカギ

- 1 社会（しゃかい）などのしきたりに、へん化（か）をあたえることを、風（かぜ）が通るあな（とお）をあけることにたとえて「○○○○をあける」という。
- 2 「雨（あめ）がふろうが○○がふろうが」、明日（あした）はかならず学校（がっこう）へ行く。「やり」と「けん」のどちら？
- 3 よいじょうたいは長（なが）くつづかず、じゃまが入（はい）ることを、花（はな）があら（ら）しでちってしまう様子（ようす）にたとえて「○○○○○○○○」という。
- 4 夕立（ゆうだち）のふるはんいの○○○を「夕立（ゆうだち）は馬（うま）のせを分（わ）ける」という。「せまさ」と「せたけ」のどちら？





10月

日	月	火	水	木	金	土